

兵庫県 の 地震 活動

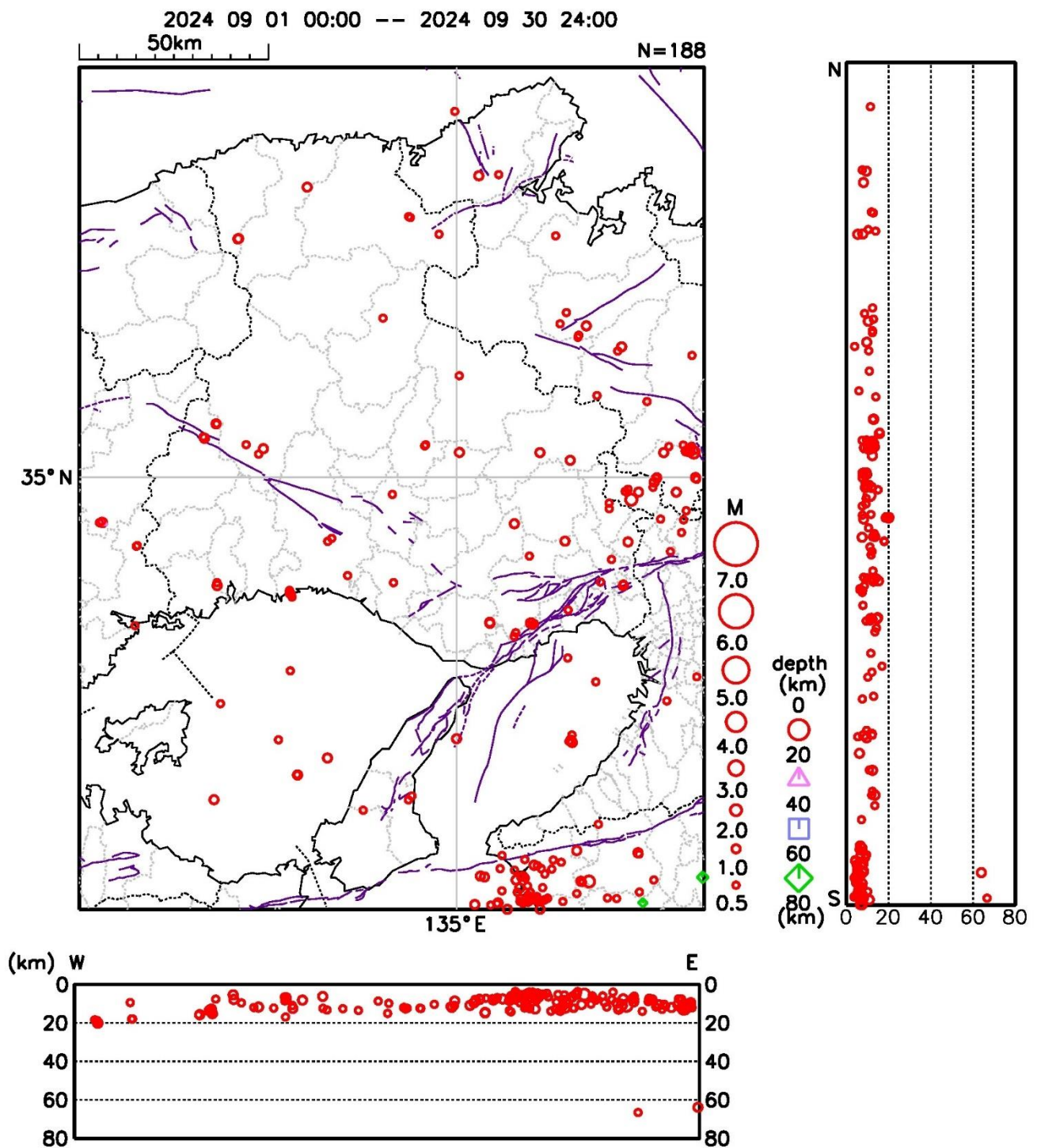
2024 年（令和 6 年） 9 月

震央分布図・断面図・・・・・・・・・・・・・・・・	1
概況・・・・・・・・・・・・・・・・	2
兵庫県で震度 1 以上を観測した地震一覧表・・・・・・・・	2
兵庫県で震度 1 以上を観測した地震の震度分布図・・・・・・・・	2
一口メモ	
北海道・三陸沖後発地震注意情報について・・・・・・・・	3

- * 「兵庫県の地震活動」は月 1 回発行し、兵庫県内の地震活動状況をお知らせするとともに、社会的に関心の高い地震について適宜解説を行います。また、「一口メモ」で地震防災等の知識普及に努め、皆様のお役に立てることを目的としています。
- * この資料の震源要素及び震度データは、再調査されたあと修正されることがあります。
- * 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。
- * また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022 年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

神戸 地方 気 象 台

震央分布図・断面図



左上：震央分布図 右上：東から見た断面図 左下：南から見た断面図
注) 分布図の紫線は、地震調査研究推進本部による主要活断層帯を示す。

概 況

―― 9 月の概況――

今期間、兵庫県内では震度 1 以上の地震を 1 回観測しました。

20 日 21 時 22 分 豊後水道の地震（深さ 41km、M4.7、前掲震央分布図範囲外）により、豊岡市、赤穂市、上郡町で震度 1 を観測しました。

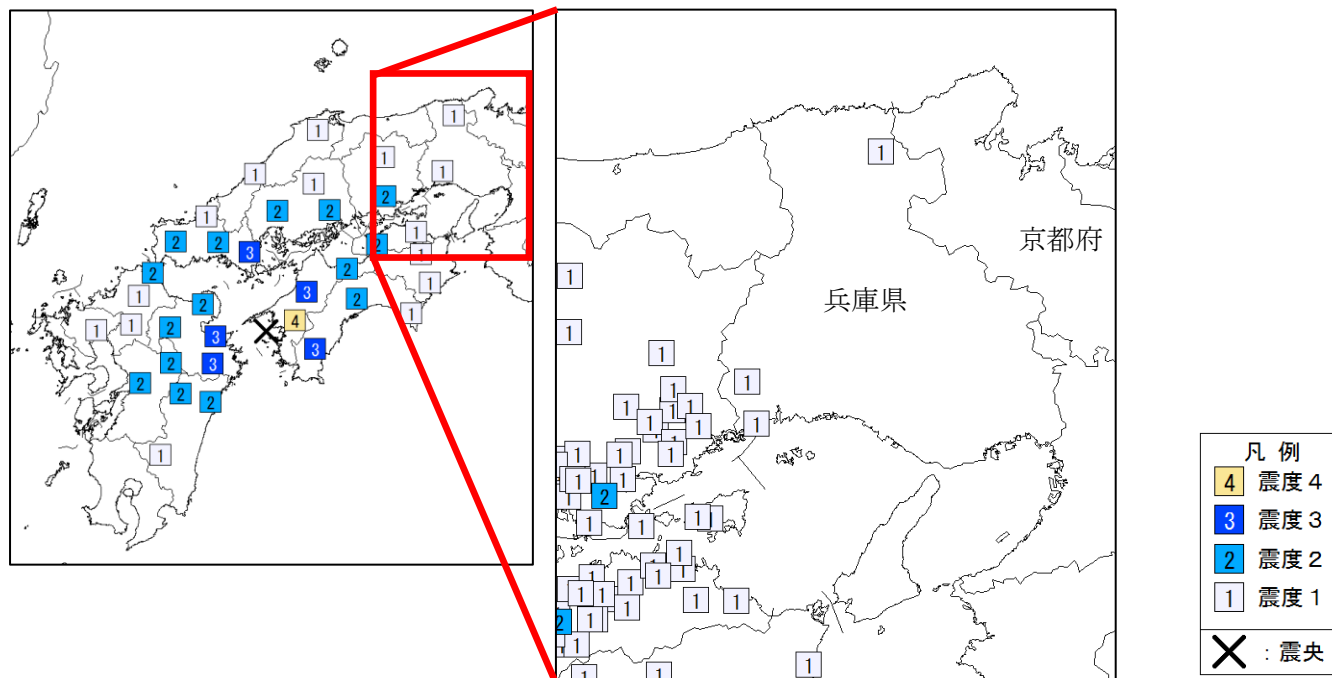
兵庫県で震度 1 以上を観測した地震一覧表

地震発生日時	震央地名	北緯	東経	深さ	マグニチュード	全国最大震度
各地の震度（兵庫県内）						
9 月 20 日 21 時 22 分	豊後水道	33° 16.0'	132° 18.9'	41km	M4.7	震度 4
震度 1：豊岡市桜町, 赤穂市加里屋*, 上郡町大持*						

震源要素は、後日修正される場合があります。なお、*印は気象庁以外の地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

兵庫県で震度 1 以上を観測した地震の震度分布図

9 月 20 日 21 時 22 分に発生した、豊後水道の地震の震度分布図（左図：地域震度※、右図：観測点震度）。



※ 地域震度：国内を 188 の地域に区分し、その地域内の震度観測点のうち最大の震度を観測した地点の震度を地域震度としています。兵庫県は、北部、南東部、南西部、淡路島の 4 地域に区分されています。

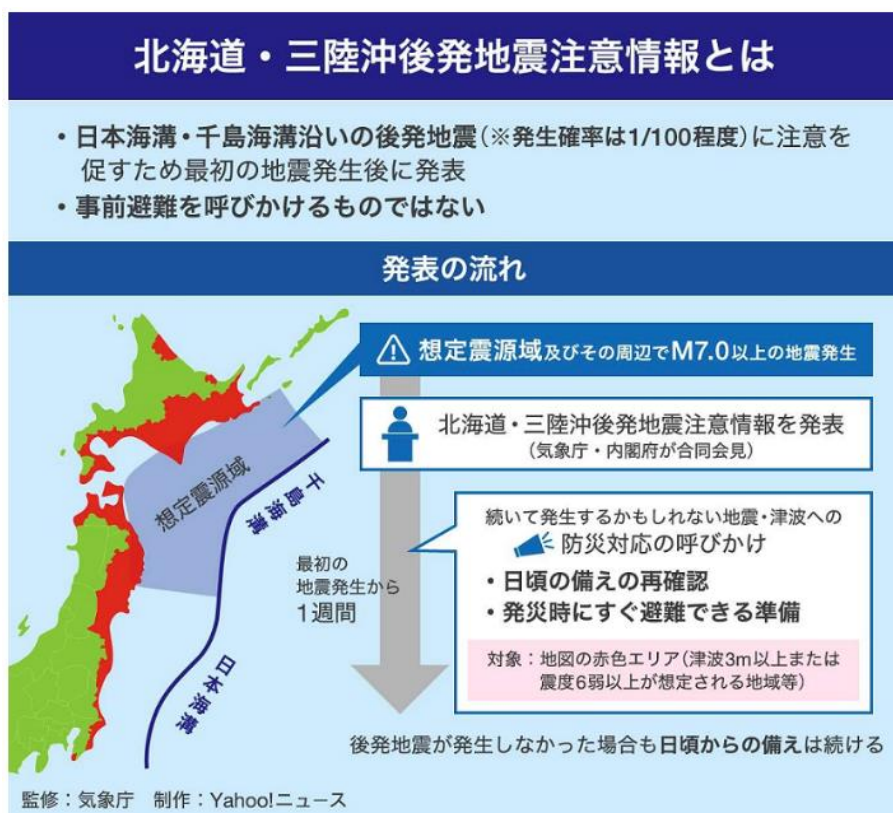
前回は「南海トラフ地震臨時情報」について紹介しました。似た情報として、北海道の根室沖から東北地方の三陸沖で発生する巨大地震を対象とした、「北海道・三陸沖後発地震注意情報」があります。兵庫県にはあまり馴染みのない情報ですが、北海道や東北地方に旅行される機会もあると思いますので、今回は「北海道・三陸沖後発地震注意情報」について紹介します。

【「北海道・三陸沖後発地震注意情報」とは】

日本海溝・千島海溝沿いの領域では、一度 M7 クラスの地震が発生した後、続いて大きな地震（後発地震）が発生した事例があります。2011 年の東北地方太平洋沖地震では 3 月 11 日の M9.0 の地震の 2 日前に M7.3 の地震が発生しました。実際に後発地震が発生する確率は、世界の事例を踏まえても百回に一回程度と低いですが、発生した場合は北海道から千葉県にかけての広い範囲で甚大な被害が想定されます。そのため、北海道の根室沖から東北地方の三陸沖の巨大地震の想定震源域やその周辺で M7.0 以上の地震が発生し、大規模地震の発生可能性が平常時より相対的に高まった際に発表するのが「北海道・三陸沖後発地震注意情報」です。

【「北海道・三陸沖後発地震注意情報」が発表されたら】

「北海道・三陸沖後発地震注意情報」が発表されたら、北海道から千葉県にかけての太平洋側で、日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震で強い揺れや高い津波が想定される地域にお住まいの方は、地震発生から 1 週間程度、社会経済活動を継続したうえで日頃からの地震への備えの再確認に加え、揺れを感じたり津波警報等が発表されたりした際に、すぐに避難できる態勢を準備しましょう。旅行や観光でこの地域を訪れている方は、宿泊施設での避難経路の確認や滞在場所周辺の避難場所の確認などをするようにしましょう。情報の意味を正しく理解し、後発地震に備えてください。



発表後にとるべき防災対応

発災時にすぐ避難できる準備

すぐに逃げ出せる 態勢での就寝



非常持出品の 常時携帯



緊急情報の 取得手段の確保



身の安全の確保

崩れやすい
ブロック塀など
に近づかない



日頃からの備えの再確認

- ☒ 家具の固定
- ☒ 非常用持ち出し袋の準備
- ☒ 水や食料の備蓄
- ☒ 避難場所・経路の確認
- ☒ 感震ブレーカーの設置
- ☒ 建物の耐震化

監修: 気象庁 制作: Yahoo!ニュース

(参考)

気象庁ホームページ「北海道・三陸沖後発地震注意情報」について

https://www.data.jma.go.jp/egev/data/nceq/info_guide.html

気象庁リーフレット「日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震 一事前の備え」

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/nceq/index.html>



「北海道・三陸沖後発地震
注意情報」について



気象庁リーフレット